



医政局長賞
特別賞

プロジェクト

「みんなのくらしゅう -共に考える地域医療-」 地域医療をまるごと、1冊にまとめました

受賞者 公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院 地域医療連携室

所在地 〒710-8602 岡山県倉敷市美和1-1-1

電話 086-422-5024

URL <https://www.kchnet.or.jp/community/minkura/>

E-mail chiiki@kchnet.or.jp

取組の経緯

いざというときに、重症患者を断ることのないように

2025年問題を見据え、医療の機能分化の仕組みを市民に知ってもらう必要性を感じ2011年より発行開始。今年で10冊目となる。

病状にあった医療機関で治療することが患者の為にとなり、またそれにより、当院(急性期病院)は地域で求められる新たな救急患者や紹介患者を診る役割を担うことができる。それには自治体、医療側だけが取り組むのではなく、市民一人ひとりに理解・協力してもらうことが重要と考えた。

実際に冊子を読み、地域医療連携室までかかりつけ医探しに来られるケースもあり、効果を感じている。



事業の概要と特徴

市民目線でわかりやすくをモットーに

医療の機能分化の仕組みを、なるべく専門用語を使わず写真やイラスト・図を多用して、わかりやすく、かつ読者に受け入れられやすい表現を追求し、市民目線を大切にしながら制作している。

10年目となる今、冊子媒体だけでなく、ムービーコンテンツ、チラシポスター用に抜き刷りしたものの配布・掲示、またどなたでも多くの方に見ていただけるようホームページ上に冊子データの展開を行っている。

チーム医療を見やすくまとめて伝えることで不安の解消につなげている。

※冊子データ・ムービーコンテンツは上記URL参照

●主な単元●

- 「けんしん」…検診、健診
- 「かかりつけ」…かかりつけ医・かかりつけ歯科・かかりつけ薬局
- 「医療ネットワークを使った連携」…ICT、PHR
- 「救急医療」…増える搬送件数、初期～三次救急医療機関
- 「入院から転院・退院まで」…入退院支援、地域連携バス
- 「在宅医療」…病院医療と在宅医療、人生会議



医療のかかり方を変えていくポイント

自分の健康に向き合うことと、医療の機能分化について理解してもらえようPR

まずは自分の身体と向き合ってほしい。必要な受診やけんしん(検診・健診)ができていないかどうか、「時間がない」や「コロナ禍だから」と受診を控え、症状が悪化してから医療機関にかかるケースもあるが、その前に未然に防いでほしい。その上で医療機関にかかるときは、上手なかかり方ができるよう地域医療について知っておく必要がある。かかりつけ医を持つことが基本的なポイントとなる。

これらのことは、市民一人ひとりに自分ごととして捉え考えてもらうことで、医療のかかり方が変わってくる。

「みんなのくらしゅう」で継続して伝えていきたい。